



変更内容

Version: v6.2.38

リリース内容一覧

● 改善事項

- ファイル出力コマンドの改善
 - 改行コードの選択が可能に
 - ファイル出力コマンドでヘッダー行を含めずにデータ行のみの出力を可能に
 - ユーザー選択、組織選択、グループ選択はコードでの出力が可能に
- krewData専用アプリでデータ編集フローの同時編集を防止する機能
 - krewData専用アプリに最終更新者と更新日時を表示
 - 他のユーザーが同時にアプリを編集しているケースでフロー設定の保存時に警告メッセージを表示
- スケジュール実行の設定時刻にタイムゾーンを表示
- ルックアップフィールドの参照先アプリから取得するレコードの制御

改善事項



ファイル出力コマンドの改善

出力するファイルに関して、次の設定ができるようになりました。

1. 出力ファイルの改行コードをLF（デフォルト）/CRLFから選択
2. 出力ファイルにヘッダー行（フィールド名）を含めずにデータ行のみの出力
3. 出力ファイルにユーザー選択、組織選択、グループ選択をコードで出力

1. データ編集フローの実行時に対象サービスに保存するファイルの情報を設定してください。

ファイルの種類: CSV

文字コード: Unicode (UTF-8)

区切り文字: カンマ

改行コード: CRLF

先頭行の出力方法: ファイルの先頭行にフィールド名を出力する

出力フォルダ: 自分のファイル/krewDataドリ... [参照](#)

出力ファイル名: ファイル名を入力 商品マスタ .csv

出力方法: 新しいファイルに出力 同名のファイルが存在する場合は上書きする

2. フィールド名を除外できる

1. ファイルの改行コードを選択できる

- LF (デフォルト)
- CRLF

3. 出力ファイルにユーザー選択、組織選択、グループ選択をコード（ログイン名）で出力できる

更新者 出力方法: 表示名を出力

レコードの出力順序: 昇順

フィールド: 表示名とログイン名を出力

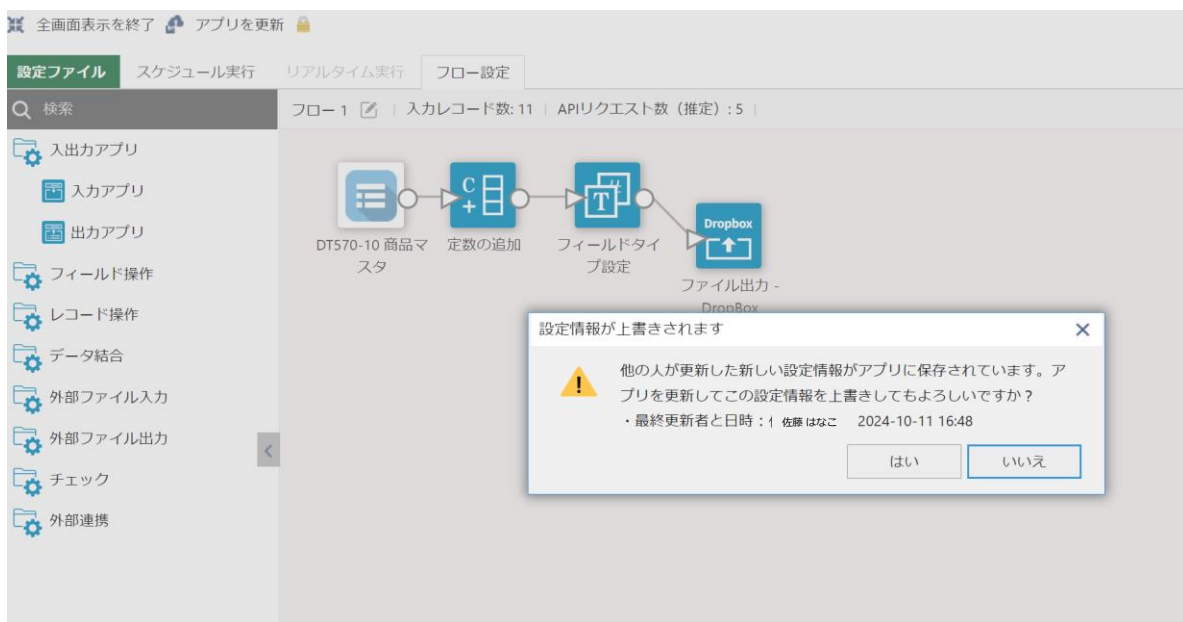
■活用シーン

1. 連携先の他システムの仕様に合わせてコードを変更できる
2. 基幹システムに連携する先頭行（項目名なし）のデータが生成できる
3. 他システム連携時に双方で共通するログインコードなどを使用できる

データ編集フローの同時編集を防止する機能

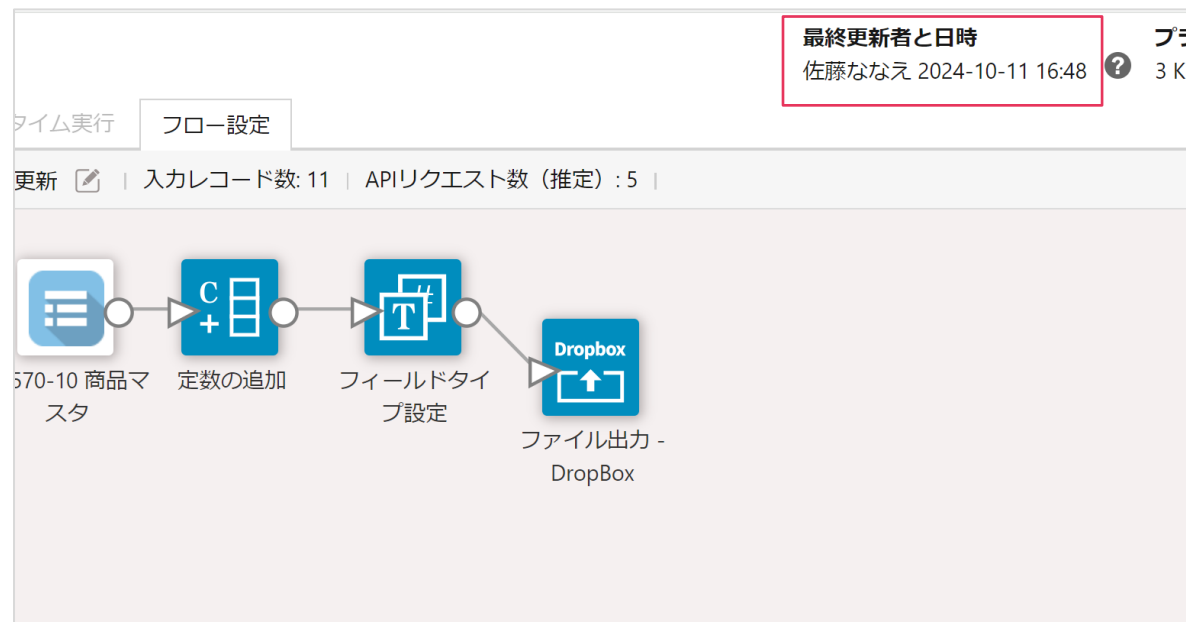
krewData専用アプリは、ひとつのアプリを単一のユーザーで利用することを推奨しています。しかしながら、運用の都合上複数人で設定を行うケースがあります。新たに追加する機能を利用することで、複数人利用で起こりうる問題を回避した運用ができます。

■ 上書き更新防止の更新時ダイアログ



現在編集集中の設定以前に更新がある場合、アプリ更新時に警告メッセージを表示します

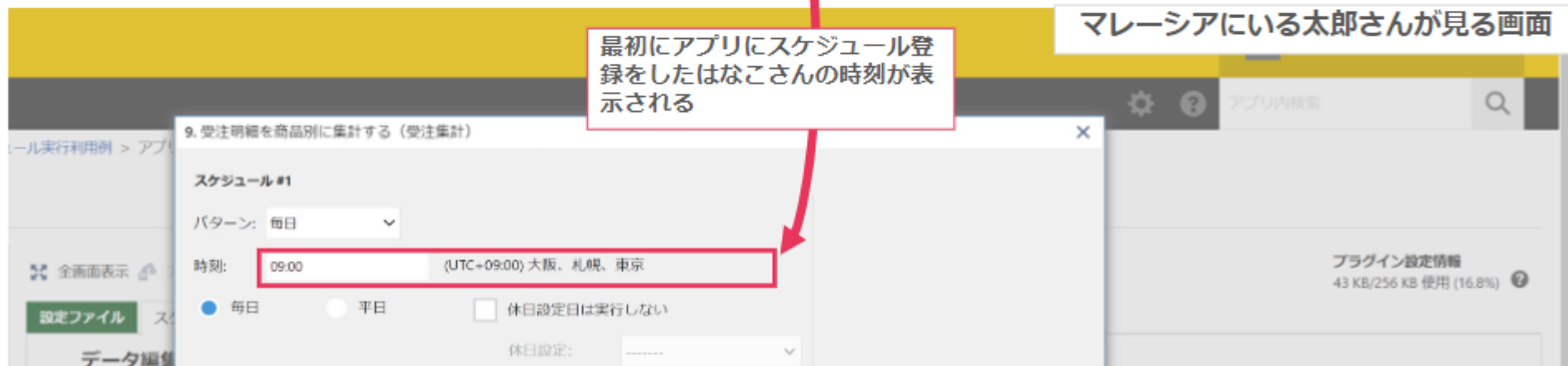
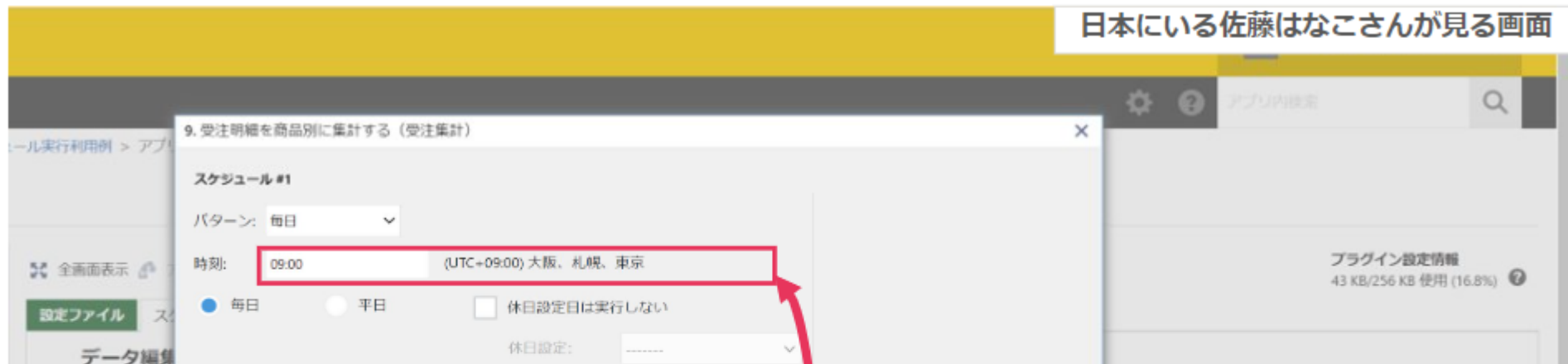
■ 専用アプリの最終更新者を表示



最後にkrewData専用アプリを更新した人のログイン名と日時を表示します。他のユーザーが同時刻に操作を行っている可能性がないか確認することができます。

スケジュール実行の設定時刻にタイムゾーンを表示

設定時刻の誤認識を防止するため、タイムゾーンが異なるユーザーがアプリを開いた場合にも常に同じタイムゾーンで設定時刻を表示します。基準となるのはアプリに最初にスケジュールを登録したユーザーのタイムゾーンです。



ルックアップの参照先アプリから取得するレコードの制御

出カアプリのルックアップ項目に値を出力する場合、krewDataは参照先アプリの全レコードを取得します。本アップデートでは取得の有無を制御できる機能を追加しました。

入出カアプリ

- 入カアプリ
- 出カアプリ

フィールド操作

レコード操作

データ結合

外部ファイル入力

外部ファイル出力

チェック

外部連携

案件管理（営業 支援パック）

案件管理（営業 支援パック）

案件管理（営業...）

設定

プレビュー

自動採番

詳細 (指定しない)

レコードの出力順序

未設定 降順

テーブルレコードの出力順序

未設定 降順

出力オプション

ルックアップフィールドのコピーフィールドの値を更新する ?

出力オプションを追加
オプションチェックを外す場合は、レコード出力時に
ルックアップフィールドの更新を行わない（ルックア
ップ参照先アプリのレコードを読み込まない）